



～ ほどがや学び隊 まち歩き会 ～

■ ほどがや学び隊・・・って??

ほどがや学び隊について

きっかけは平成26年秋に開催された区の講座「保土ヶ谷の魅力再発見!ほどがや学び隊」。

保土ヶ谷の...
 魅力を探したり... (窓をみて撮影) / 防災を学んだり... (海抜1.5m) / 野菜を収穫したり... / 最終回には 区長から修了証を授与されました。

受講者の仲が良くなったこと、今後の講座運営の手伝いを区が募集していたことから、「今後も保土ヶ谷を学び、発信していこう!」とOB会を結成しました。

それが “ほどがや学び隊!”

こんな活動をしています。

月1回のまち歩き

自然 (花、鳥) / 建造物 (古東海通) / 食 (お餅) / その他、文化や地区・地形などをテーマに。

地元のことを知るのって楽しい! / 楽しみながら地元の魅力を発見しています。

おいしいものを食べたい!

秋開催の講座で集まった「魅力発見カード」を区のホームページ「ほどがや学び隊」がみつけた魅力スポットに掲載。

また、講座では一緒に学びながらスタッフとして講座をサポート。

受付 (こんにちは!) / 安全確認 (車来ってます!) / 調理 (保土ヶ谷産野菜の具だくさんスープ)

時に熱い意見を交わしながら...

作:たかえみちこ takaemichiko.com

■ 今回のトピックス・・・は??

われ等が“ふるさとほどがやの魅力を探る”第12弾!は・・・
 相鉄線の二俣川方面に向かって西谷駅を過ぎると直ぐ、右側に高い煙突が見えてくる。現在、稼働している横浜市のごみ処理施設4工場の一つ、「旭工場」の高さ100mの煙突。一体、横浜のごみ処理は、どのようにしてなされているのか。ゴミと資源循環を学ぶ“まち歩き”・・・です。

■ 次回のトピックス・・・は??

われ等が“ふるさとほどがやの魅力を探る”第13弾!は・・・
 かつては海の広がる入江だった「みなとみらい」の地。1872年(M5)の鉄道開通に伴い初代横浜駅(現桜木町駅)に隣接する旧横浜船渠の第1号ドックも、ウォーターフロント開発の一環として大変貌。その地に繋留されている「日本丸」と「横浜みなと博物館」を訪れ、帆船と横浜港を学ぶ“まち歩き”・・・です。

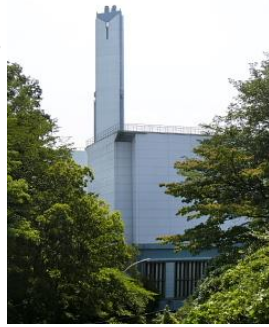


ほどがや学び隊 まち歩き会 ～ごみ処理施設 旭工場見学～

■見学先： 横浜市資源循環局 旭工場（横浜市旭区白根二丁目）
 ■開催日： 2017年7月25日 ■参加者： 18名 ■所要時間： 2時間

① レクチャー(旭工場 概要)

相鉄線 西谷駅から徒歩約20分(※)。1973年 完成。'94年～'99年にリニューアル。横浜市旭区の全域と保土ヶ谷、神奈川、緑区の一部のゴミを収集。焼却に伴う排熱で発電及び、隣接する施設への熱源として有効活用。※市営バス便あり。



①'レクチャー(横浜のごみ処理)

1960年代 高度経済成長期のゴミ増加による社会問題、'70～'80年代の焼却によるごみ処理の限界から、『30兆3R夢(3R)！プラ』の策定。分別・減量により、処理施設は旭工場の他、都筑・鶴見・金沢の4工場に減少(旧来は7工場)。

② 展示コーナー

上記レクチャー後、廊下の展示パネルで横浜市の分別・リサイクル・再生品化等の取り組み説明を拝聴。特に再生アルミの利用に関し、アルミ製品製造の必要エネルギー削減にビックリ！



③ 中央管制室

3台ある焼却炉と発電機をここで24時間監視。5人体制で4班交替勤務。工場内各所を複数画面で確認。特に地球環境保全のため、燃焼状況に留意しているとのこと。



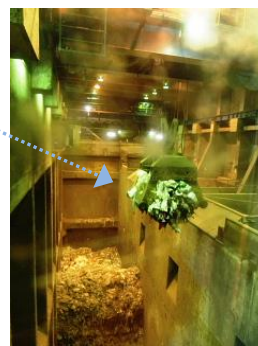
④ クレーン操作室

アニメ映画『トイ・ストーリー3』のリトルグリーンメンの気持ちを体感したければ、是非ココをご訪問！巨大なごみクレーンの爪で遥か下のごみピット(右⑤)のゴミをキャッチ、焼却炉入口のホッパーに投入。焼却したゴミは、灰(元の1/40の体積)に。



⑤ ごみピット(左)・投入ホッパー(下)

ピットの深さは10階分のマンションの高さに相当。投入されたゴミは焼却炉へ自動搬送。



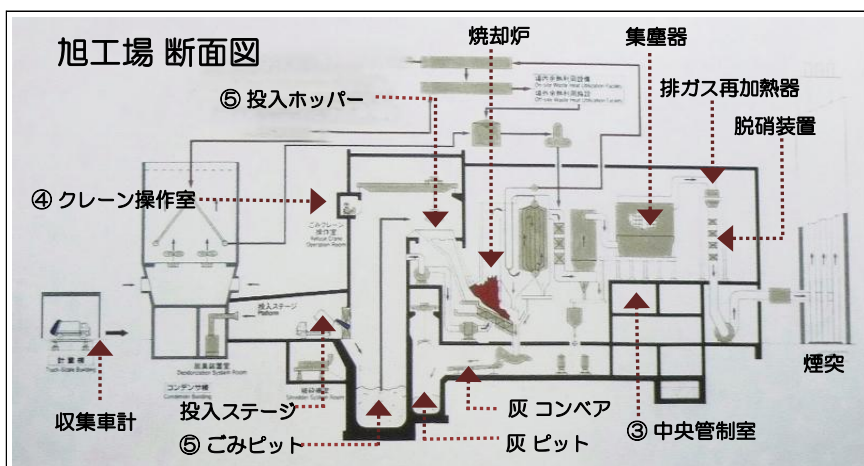
⑥ 質問タイム

工場内見学後レクチャー室に戻り、質問タイム。
 ・ゴミの最終処分地(本牧沖)の耐用期限？
 ・事業系ゴミの課題？
 ・東日本大震災時の横浜市の対応？
 焼却灰の最適利用方法？…等 質問。



⑦ オランダ坂珈琲邸

国道16号線を西谷駅方面へすぐ、「オランダ坂珈琲邸」というお店がある。昼食、お茶のひと時に最適。一番のお勧めは、「パンケーキ」！(外はカリカリ、中はフワフワ!!)



毎日出すごみは、どう処理される？

旭工場は山の上。暑い夏の日の見学だった。係の人の説明で、食品ロスや食べられずに捨てられる量の多さに、びっくり。回収されたごみはピットに溜められ少しずつ焼却炉へ。燃やすだけでもお金はかかる。「もったいない」気持が大切だ。しっかり、水切りしようと思った。

ほどがや学び隊 市川 記